

以下ハ議長ポル、モニロー博士、開會ノ  
辭中ヨリ、<sup>432</sup>教育ニテア<sup>432</sup>也(二三頁)

「本組織ハ今ヨリ十五年乃至十七年以

前ニ世界教育者達ノ向ニ良中

理解ヲ齎ス事ヲ主タル念歟トシ且ツ

此ノ良中理解ガ世界民族間ノ

理解ヲ促進シ、革新シ且ツ助長シ

ス事ヲ理念トシテ創設セラレタモノ

ゾアリマス

(二四頁)「從テ本夕ノ會議ヲ定ハ

一般問題タル「教育ニヨル國際間ノ理解

ノ振興」ト云フ事ヲアリマス



本問題ハ各民族有ル文化ノ観点

ヨリシテ、各々独自ノ<sup>立場</sup>方法ヨリ論議サレ

事ニナラズ居リマス 講演者ハ必ズシモ

全部ガ職業的教育者バカリデハアリ

マセン。(二五頁) 最初ニ述ベ

ラレ方ハ今回ノ會合<sup>ニ於テ</sup>極メテ<sup>率</sup>能<sup>率</sup>的

親切ナル主催者トナラシメタ<sup>ク</sup>國ノ方デ

アリマス。此ノ方ハ本聯盟本来ノ目

的ノ達成ニ献身シテ居ラシ、且ツ

其ノ目的ハ<sup>此</sup>彼<sup>方</sup>ガ支持シ指導スル

處、協會即チ日本國際文化親

善協會ノ目的中ニ充分ニ表現



カレテ居ルベキアリマス

此ノ方ハ

彼ノ又本會合

ニ先方ツ一週向或ハ四日<sup>向</sup> 山中

湖畔ニ於テ開催セラレシク討議會

ヲ準備セラレシク方デアリマス

安且ニ國際親善ト國際文化關係

ノ促進ノ上ニ日本ノ指導者デアリ

方ニ近付クテ得且ツ其ノ言ヲ聽

ク事ヲ得マスハ甚喜ビニ堪ハズ所

デアリマス 本夕ノ最初ノ講演

者ト致シマシテ國際文化親善協會

理事長樺山伯壽ヲ御紹介申

上ノ事ハ限リタム甚喜ビデアリマス

5/